



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社遠藤製作所
コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 実

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当 (氏名) 佐藤 俊明

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,007	△16.2	370	48.2	375	38.2	282	307.8
28年3月期第1四半期	3,587	20.7	249	271.6	271	—	69	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △211百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	32.31	—
28年3月期第1四半期	7.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
29年3月期第1四半期	17,484		12,988		74.3	
28年3月期	17,561		13,269		75.6	

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 12,988百万円 28年3月期 13,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,895	△14.1	405	△15.1	404	△15.8	284	516.6	32.53
通期	11,575	△8.0	620	△30.5	634	△29.2	411	—	47.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	9,441,800 株	28年3月期	9,441,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	711,871 株	28年3月期	711,871 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	8,729,929 株	28年3月期1Q	8,730,008 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、中国を始めとするアジア新興国の景気の減速や、急激な為替の変動等、景気を下押しする不安要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、前期までのゴルフ事業の抜本的改革が一巡し、利益体質を確実なものとするべく、全社で生産効率の向上、受注の拡大に努めるとともに、一層のコストの低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は30億7百万円（前年同期比16.2%減）となりました。利益面につきましては、ゴルフ事業の構造改革の成果が出始めていること等から、営業利益3億70百万円（同48.2%増）、経常利益3億75百万円（同38.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億82百万円（同307.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（ゴルフ事業）

ゴルフ事業につきましては、前期のタイ国のメタルウッドヘッド工場の合理化から、メタルウッドヘッドの受注数は減少したものの、アイアンヘッドの受注数が増加したこと、また本社及びタイ工場の人員の適正化の見直しによりコスト低減を図ったこと等から、売上高11億96百万円（同13.2%増）、営業利益1億37百万円（前年同期は87百万円の営業損失）となりました。

（ステンレス事業）

ステンレス事業につきましては、販路の拡大、生産性の向上・製造原価の低減等に取り組みましたが、OA機器市場の低迷から在庫調整による受注数の減少等で、売上高2億89百万円（前年同期比35.0%減）、営業利益1億20百万円（同30.7%減）となりました。

（鍛造事業）

鍛造事業につきましては、依然としてタイ国の自動車産業の回復が遅れる中、生産効率向上等の改善活動やコスト削減等に努め、売上高15億21百万円（同27.0%減）、営業利益2億7百万円（同18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、174億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。

流動資産は、105億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億90百万円増加いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、69億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億67百万円減少いたしました。この主な要因は、機械装置及び運搬具の減少等によるものであります。

負債合計は、44億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加いたしました。

流動負債は、30億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、13億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ46百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産合計は、129億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億81百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更ありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,183,943	6,023,611
受取手形及び売掛金	2,084,588	2,551,056
商品及び製品	700,629	857,519
仕掛品	453,749	415,651
原材料及び貯蔵品	563,014	559,145
繰延税金資産	21,096	16,883
その他	129,257	105,614
貸倒引当金	△13,101	△16,044
流動資産合計	10,123,178	10,513,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,570,744	2,414,556
機械装置及び運搬具(純額)	2,270,317	2,029,467
工具、器具及び備品(純額)	96,913	89,340
土地	1,551,072	1,496,531
建設仮勘定	117,070	129,251
有形固定資産合計	6,606,117	6,159,147
無形固定資産	29,252	29,070
投資その他の資産		
投資有価証券	92,644	79,550
投資不動産(純額)	252,786	251,981
退職給付に係る資産	426,345	422,747
長期未収入金	229,337	237,476
その他	32,638	28,706
貸倒引当金	△230,342	△237,776
投資その他の資産合計	803,409	782,686
固定資産合計	7,438,779	6,970,904
資産合計	17,561,958	17,484,343

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	801,679	898,826
短期借入金	887,740	864,840
1年内償還予定の社債	600,000	500,000
未払法人税等	181,380	226,797
未払金及び未払費用	335,864	377,629
賞与引当金	50,961	93,983
その他	81,488	134,550
流動負債合計	2,939,114	3,096,628
固定負債		
社債	500,000	—
長期借入金	287,240	845,630
繰延税金負債	218,387	208,429
退職給付に係る負債	177,492	174,647
役員退職慰労引当金	58,026	59,269
資産除去債務	61,039	61,272
その他	51,415	50,396
固定負債合計	1,353,601	1,399,644
負債合計	4,292,715	4,496,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	10,150,745	10,362,992
自己株式	△281,968	△281,968
株主資本合計	12,300,439	12,512,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68	△12,996
為替換算調整勘定	968,735	488,382
その他の包括利益累計額合計	968,803	475,385
純資産合計	13,269,242	12,988,070
負債純資産合計	17,561,958	17,484,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,587,192	3,007,088
売上原価	2,909,864	2,308,244
売上総利益	677,327	698,843
販売費及び一般管理費	427,485	328,623
営業利益	249,841	370,219
営業外収益		
受取利息	9,352	8,630
受取配当金	948	1,138
投資不動産賃貸料	8,844	5,816
為替差益	37,012	—
助成金収入	1,100	27,156
その他	6,793	14,478
営業外収益合計	64,051	57,220
営業外費用		
支払利息	12,629	5,255
減価償却費	2,902	4,241
シンジケートローン手数料	6,325	2,557
貸倒引当金繰入額	13,196	—
固定資産除却損	—	12,502
為替差損	—	25,248
その他	7,021	1,994
営業外費用合計	42,075	51,800
経常利益	271,817	375,639
特別損失		
減損損失	29,218	—
事業再編損	78,148	—
特別損失合計	107,366	—
税金等調整前四半期純利益	164,451	375,639
法人税、住民税及び事業税	83,526	75,677
法人税等調整額	11,758	17,876
法人税等合計	95,285	93,553
四半期純利益	69,165	282,085
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,165	282,085

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	69,165	282,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,615	△13,064
為替換算調整勘定	94,020	△480,353
退職給付に係る調整額	△15,592	—
その他の包括利益合計	93,043	△493,417
四半期包括利益	162,208	△211,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,208	△211,332
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,056,816	445,758	2,084,617	3,587,192	—	3,587,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	1,059,366	445,758	2,084,617	3,589,742	△2,550	3,587,192
セグメント利益又は損失(△)	△87,298	174,220	255,354	342,276	△92,435	249,841

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△92,435千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,885千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゴルフ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、4,149千円であります。

各セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、25,068千円であります。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,196,120	289,842	1,521,125	3,007,088	—	3,007,088
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	1,198,670	289,842	1,521,125	3,009,638	△2,550	3,007,088
セグメント利益	137,845	120,798	207,928	466,572	△96,352	370,219

(注) 1. セグメント利益の調整額△96,352千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,802千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。